

五期俳句会 第七十八回 六月六日

今日は蔵本さんがお休みで、お菓子がなくちよっぴり寂しい。私は少々ばて気味だが、他は元気で始まる。

白鷺や堀の岸边に餌を探す
松浦武子

西陽あび真赤なポストも夏の顔
塩田亘子

塩辛い物駄目と言われて梅雨兆す
浅香さとみ

翡翠やまこと翡翠の衣をまとひ
松浦武子

石だたみ参道暗き夏木立
塩田亘子

菊挿し芽朝しつとりと庭の鉢
今井由紀子

頑張れない躰となりて五月憂し
浅香さとみ

老鶯に僧の掃く手の止まりけり
松浦武子

咲き初めし薔薇ばらに無情の雨しとど
久貝貞子

万緑に埋もれる社青蕨いらか
塩田亘子

勝った勝ったナイター今宵は酒うまし
今井由紀子

髪切つてイメージチェンジ六月や
浅香さとみ

海風に乗るやみかんの花白ふ
松浦武子

緑雨あび樹々もひとときわ艶やかに
塩田亘子

あじさいの繁りに狭きバルコニー
塩田亘子

寺町の石段下る青葉風
今井由紀子

かたくりの花に会ひたく裏伊吹

松浦武子

誕生日の薰風の中に車椅子で

浅香さとみ

このところどうも調子が悪いので、後書きを省略させていただきます。